

## 月の形の見え方モデル実験器

6年生の学習に「月と太陽」という単元があります。

「月の形の見え方」を学習するとき、このモデル実験器を使えば、理解力アップは間違いありません。

### 材料と準備物

#### 材料

- ダンボール紙(100×60cm)
- 回転台(100円均一ショップで購入)
- 発泡スチロール球(直径7cm)8個
- 発泡スチロールのブロック8個
- 色画用紙(黒、黄色、オレンジなど)
- 竹ひご(8cm)8本
- スプレー(黄色、黒色)
- 接着剤

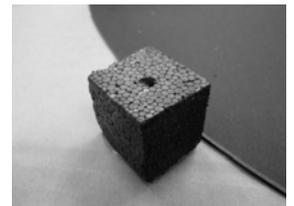
#### 準備物

- キリ
- ハサミ



### 作り方

- ①スプレーを使って、発泡スチロール球の半分を黄色に、半分を黒色に塗ります。
- ②2色に塗り分けた発泡スチロール球に、黒く塗った竹ひごを挿し込みます。
- ③黒の色画用紙を半径25cmの円形に切り、ダンボール紙に貼ります。
- ④黄の色画用紙を矢印の形に切り、完成図のように貼ります。(矢印は、太陽の光を表します。)
- ⑤黒の色画用紙の周り8ヶ所に発泡スチロールを貼り、そこに竹ひごを付けた発泡スチロール球を付けます。黄色の面が矢印のほうを向くようにセットします。
- ⑥真ん中に回転台を置いて、完成です。



この回転台が地球になります。

インターネットから地球の写真を探し、プリントアウトして貼るとさらによくなります。

回転台の上に、デジタルカメラを置きます。そのモニターから周りの月を見れば、月の形の変わり方がよく分かります。カメラをテレビにつないで、みんなで月の形の見え方を確かめることもできます。